

# 田川市国民健康保険税について

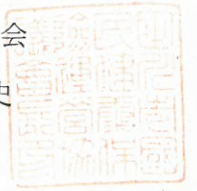
## 答 申

令和6年1月16日  
田川市国民健康保険運営協議会

令和6年1月16日

田川市長 村上卓哉 殿

田川市国民健康保険運営協議会  
会長 平畑尚史



田川市国民健康保険税について（答申）

令和5年10月30日付田市保第346号にて貴職から諮問があった事項について、慎重に審議を行った結果、下記のとおり意見がまとまったので答申する。

記

1 諮問事項

令和6年度以降の田川市国民健康保険税率等について

2 答 申

令和6年度の田川市国民健康保険税率は、医療分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分のいずれも現行どおりに据置きとされたい。

3 答申に関する協議会の考え

令和6年度の納付金算定結果を踏まえ、現行税率による収支予想を行ったところ、1億6千6百万円の財源不足が生じる見込みとなった。これは、基金を還元するために低税率に設定していることに加え、ひとりあたり医療費の増加に伴う納付金負担の増、さらには被保険者数減少に伴う保険税収の減等の影響によるものである。令和4年度末に約5億6千9百万円あった基金は、令和5年度末に6千万円減の5億9百万円、令和6年度末に1億6千6百万円減の3億4千300万円まで減少する見通しとなっている。本市が保有額の目安としてきた2億5千万円を割り込むことはないため、増税の議論には至らなかったが、基金の減少が加速することを踏まえ、税負担の緩和を行う余地はないと判断し、本答申の結論に達したところである。

なお、県内医療費の増加が続いていることから、近い将来、税率の見直しを迫られることが想定されるため、危機感を持って、その早期検討に着手されたい。

田川市国民健康保険運営協議会委員名簿

| No. | 区 分                       | 氏 名     | 所属等                   | 備 考 |
|-----|---------------------------|---------|-----------------------|-----|
| 1   | 被保険者を<br>代表する委員           | 牛尾 淳子   | 公募                    |     |
| 2   |                           | 熊谷 依子   | 公募                    |     |
| 3   |                           | 吉井 啓介   | 公募                    |     |
| 4   | 保険医又は<br>保険薬剤師を<br>代表する委員 | 原 靖     | 田川医師会                 |     |
| 5   |                           | 今田 亮司   | 田川歯科医師会               |     |
| 6   |                           | 久保 博志   | 田川薬剤師会                |     |
| 7   | 公益を代表する<br>委員             | 平畑 尚史   | 田川市社会福祉協議会            | 会長  |
| 8   |                           | 畑 香理    | 福岡県立大学                | 副会長 |
| 9   |                           | 中田 ヨンジュ | 田川市区長会                |     |
| 10  | 被用者保険等保険者を<br>代表する委員      | 田中 亮介   | 福岡県被用者保険等<br>保険者連絡協議会 |     |